

KSKQ

2024年度 第2号

オリーブだより



あつという間とはこのことかと思うように、一年が終わろうとしています。暑い夏が過ぎ、短い秋が終わり、ようやく冬が来ました。お芋と大根の季節です。この間のオリーブの毎日を少しお伝えしたいと思います。

糸の 一泊旅行

桜が咲いていたころ、最初は5人の旅行委員が集いました。BBQをしたころ、行先が下呂温泉に決まりました。ミニトマトをたくさん食べていたころ、申込がはじまり、どこに行き何を食べ何を遊ぶか、ひとつひとつ決まってきました。全ての会議に出席してくれた2人の委員さんとしおりの製本を行い、皆様にお配りした9月の終わりごろ、10月3日と4日の岐阜のお天気は、何度調べ直しても雨でした。



飛驒の里にて合掌造見学

総勢20名、傘をさしての出発。例年より小さなバスに乗り込み、皆の歌声が旅のはじまりを暖かく優しく彩りました。あとは2人の委員さんが書いてくれたとおりです。帰り道にソフトクリームを堪能したころ、ようやく雨雲も私達についてくることを諦めたようでした。アンケートに応じて下さった皆様、旅行に参加した20名、みなと共に佳き時を過ごしたいという思いが天に通じ、旅の無事が叶ったことと存じております。岐阜の方々、旅行社の方、運転手さんにも、お世話になりました。

ありがとうございました。(相馬)

今回、旅行委員をさせて頂きましたYです。

今年の旅行は岐阜ということでしたが、私は岐阜のことについてあまり詳しくなかったので調べてみました。

まずは下呂温泉、そして飛驒牛でした。旅行初日は大雨で少し残念でしたが、バスの中で歌を歌ったり、岐阜にちなんだクイズをしたりしてとてもいい時間を過ごすことができました。途中で寄った昼食も美味しく、夕食はなんと飛驒牛もできました。

下呂温泉は少しとろみがあるような触感(私だけでしょうか)でした。美肌効果もあるそうです。

せんべいを焼く体験もありました。白川郷での幻想的な建物もとても素敵でした。

大雨の中での郡上八幡城は足元が非常に悪かったのですが、全員けがなしとのことで良かったなと思いました。

大雨で始まった岐阜旅行でしたが、終わってみるとまた行きたいと思う名残惜しい旅行になりました。



前回鳥取旅行の旅行委員を務めさせて頂いて8年の時を経て担当した福井です。今回の旅行はバスで行くオリーブ岐阜旅行でした。最初にバス旅行では、お馴染みの洋服の青山からバスに乗り込み出発しました。そして養老のSAに着いたら早速お昼を待ち切れず飛驒牛コロケと富有柿ソフトを食べちゃいましたw。その後流響の里で健康朴葉味噌焼き御膳を食べました。

次に郡上八幡城に登るのですが、この日は生憎の雨で登るのに苦労しましたが、天守閣の最上階から見る景色は雨でも乙なものでした。

次に城下町を散策して宿に着き温泉街を散策した時に、旅行委員で旅行に来れなかった人用のお土産を選びました。

そしてお待ちかねの下呂温泉に入り夕食を食べたのですが、お昼に食べた明宝ハムをまた食べられました。次の日、朝食を食べお宿を出発し朝市に行きました。この日も天候は良くなくてお店の人が「店舗数はいつもの半分だ」と言っていました。その後、飛驒の里で合掌造見学と手作り体験をしました。手作り体験で煎餅を焼いたのですが、焼いてる内にどんどん上達して面白かったです。

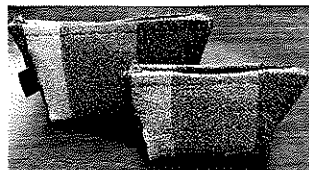
お昼に大喜と言う店で食べた朴葉焼き(2回目)が今でも忘れられません。最後にバスの運転手さんが教えてくれたSAでお土産を買うのとソフトクリームを食べました(2回目)。

自分は今回の旅行で6回目の参加でしたが、参加した皆さんの良き思い出になれば幸いです。

一九九一年九月三日第三種郵便物承認 毎月(1, 2, 3, 5, 6, 8の日)発行

自主製品のこと

元々モノづくりは大好きで、神社などでよく行われているハンドメイドの出品に足を運んだり、自作でモノを作ったりなどを趣味としている部分も以前はありました。オリーブさんで作業を始めて約半年程が経とうとしています。最初は、畳紙の結び紐付けや房結びなどの軽作業をさせてもらっていましたが、たった1時間、2時間ただでクタクタになり、また、環境の変化に敏感な私にとっては色々な事に“馴れること”で精一杯。そんな時、スタッフの方々から「手先が器用だし、縫製品のポーチ作りやってみない？」と提案して頂き、当初は、ポーチのファスナー付けを担当していたのですが、ファスナーが上手く収まらずで大大苦戦。ですが、周りの皆さんにサポート及びアドバイスを頂きながら何とかそれなりの仕上がりになり、ここ最近は一から生地やファスナーの色合いも自由に選び、ポーチ作りをさせてもらっています。



私は初めて会う人はもちろん、事柄にも凄く抵抗を持ってしまい、「相手をすぐに疑ってしまう」悪い癖があり、特にポーチを一から作る事で一番不安だった事は「ミシンを使う事」で、私の時代は学校の授業でミシンを使ったり、習ったりする機会が無かったので、ミシンに対しての「怖さ」が少しありましたが、なんとか取り組んでいます。作業所のミシンは足を踏んでやる(タイプのもので)古いタイプですので、足と手とそれぞれに意識を向けながら進めていかないといけないため、凄く神経を使い疲れますが、ミシンを使った後は不思議と気分が少し朗らかになります。

昔、私が幼い頃、母が給食袋やカバンなど通園、通学のためにミシンで一生懸命に作ってくれていて、母はそんなに手先が器用な人では無いけど、私の好きそうな柄やワッペンを使ってくれて、嬉しかった事をふと思い出しました。

何事もそうですが、ポーチ一つにしてもお店には完成品が並ぶだけで、どうやって出来上がったいったかのプロセスまでは中々、注目はされません。でも、私自身が今、ポーチ作りに携わっているからか、お店などで売られている商品を見る際に、縫い目に目がいくようになり、実際に使って下さる時に「どれくらいのマチの大きさが良いかな、色味はどういうものが好まれるかな」と考えたりしてなるべく自分の趣味嗜好は取り入れないように注意していて、視点も少し変わったような気がしています。そのことから、便利な時代の今だからこそ手作り品はどれよりも一層、大切にされていて欲しいなと改めて思いますし、ポーチ作りを経験させてもらえて本当に良かったです。(ヒトミ)

スイーツ同好会

コロナ前にしていた同好会を5年ぶりくらいに行いました。今回は希望にあったスイーツ同好会を作業後に行いました。もともとレクとは別に同好会を作ったのは、いつかメンバー同士が声をかけあい集まれるようになればと始まったものでした。なので今回もメンバー、スタッフで共同で行えたらと委員さんと一緒にパフェの内容やらを決めました。



大きめの透明カップでパフェを作り入れる前にルールを一つ。コーンフレークを一定のラインまで入れることです。トッピングに迷う人、迷いなく最後に生クリームを絞り早々完成させる人など個性が出るから見るだけで楽しめました。机に座り食べる前にお互いのを見てみると、当たり前ですが、ちゃんとみんな決めたラインまでコーンフレークが入っていて笑ってしまいました。



パフェは無事に完成。なんとなく放課後のちょっと気楽な活動みたいでゆるくいられました。美味しいと二杯目を楽しむ人。美味しいんだけど二杯目がきつくなった自分に気づく人。満腹になる時間を過ごしました。(はま)

るまんやまな

るまんやまなでは喫茶以外に月2回、15:45分から1時間ほど「うたサロン」を開いています。地域の方やオリーブのメンバーが集まり、その時々で練習する曲を変えながら先生の指導の下、活動しています。声を出すと気持ちいいです。スッキリするような。ぜひ一度覗いてみて下さいね。

歌サロンに参加して

『オリーブの一杯のコーヒー 心 和らぐ』

私は、るまん山科店の常連になっている。るまんでの月2回の歌サロンは、私にとってとても楽しみ行事で参加している。

昨年もそうであったがこの町内会の秋の催しは、るまん音楽隊として歌サロンの発表の場である。今年も10月からそのための練習が密に行われている。指導者の大久保先生がとても指導上手で、熱心、めきめきと合唱が上達しているのがわかる。

私の現役時代、校内合唱コンクールが毎年開催されていた。私が受け持ったクラスは、いつも入賞できなかった悔しい思い出がある。それは、合唱指導ができなかったことを痛感する。先生の指導は、なるほど、さすがと思う。それは、まず発声をしやすくするために身体をほぐす運動を十分させている。そして声を腹の底から出せるように腹式呼吸をさせる。ピアノ伴奏でハミングを繰り返し、ハハハ、マママなど発声をしボイストレーニングをさせる。その後に歌唱に入るのだ。それが基本。

今年①もみじ②belive③翼をください④見上げてごらん夜の星を⑤上を向いて歩こうの5曲、繰り返し丁寧に指導をしてくれる。

12月1日が発表日である。るまん音楽隊の一員として精一杯頑張り、地域の皆様を喜ばせたい。そして音楽隊の皆さんと共に支え合って楽しみたい。(秋山)

町内会での発表、美しい歌声が響きわたっていました!! (正)

一九九一年九月三日第三種郵便物承認

毎月(1. 2. 3. 5. 6. 8の日)発行

火田のこと

今年の夏、よつばホームデリバリー京滋さんの独自企画として夏野菜2品セットという企画を立ててくださり、約5年ぶりに生野菜の販売をさせていただきました。3月の種まきから丁寧に育てたオリーブの野菜をたくさんの方々に提供することができ、本当に良い機会となりました。オリーブの野菜を通していろんな方々に喜んでもらえるように、今後もメンバーの皆さんと共に作業に取り組んでまいります。(直崎)



こんな道具

あったらいいのになあ〜



●どらえもんの秘密の道具は心にある
引き出すか引き出さないかは自分しだい



◎「ほんやくコンニャク」
火でも掘りをした時にモグ
ラの話が聞きたくなった
あと飼い猫と会話をしたい
H.F

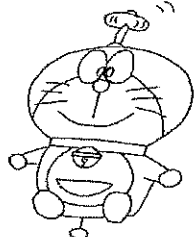
◎どこでもいける
タケコプター とびたいの!
石田



♪「タイムスリップできるマシン」
過去に戻ってやり直したい
可愛いけど夢を見させすぎ!



☆「どこでもドア」
過去をやりなおしたい。
地球の裏側の遠すぎて行けない
育った街に行きたい



☆カー テレビ
・Y・M
BS・衛生放送

☆「ほんやくこんやく」
色んな国の人や動物とおはなしが
したいから

●「もしもボックス」
世界をかえられるチートアイテム
いろいろと出来る事がむげん

理事長のひとこと

「自分の中にある檻」

生活のしづらさなどに関する調査(全国在宅障害児・者等実態調査)等から、近年精神障害の増加が顕著であると言われていています。特に発達障害等の認知が進み、手帳所持者が増えた等々と言われていますが、このことをどのように捉えたら良いのでしょうか？

先日、信濃毎日新聞社の取材に基づく、「ルポ「ふつう」という檻—発達障害から見える日本の実像—」という書籍を読みました。『ふつう』が呪縛になっている現実、『ふつう』とは何なのかを問い直す方向を模索しようといった趣旨で取材を進められ、学校や職場に馴染めずに苦悩する当事者の姿や放課後等デイサービスでの虐待の実態、「自立」を巡る様々な思いが詰め込まれた、支援者としての姿勢を正されるような内容でした。そこでは、やはり対社会の中にある生きづらさが浮かび上がってきます。以前のこのひとことで、ゲイ公表しているロバート・キャンベルさんが話されていた内容を紹介しました。「LGBTが不幸だとすれば、おのずからではなく、社会や教室、家庭などでその人が出会う一つ一つの場面に人を不幸にする要因がある。」まさにその言葉が当てはまります。それを二次障害と表現するのもかもしれませんが、発達の特性はひとそれぞれであり、それ自体は問題ではありません。その特性を多くの方が理解をし、その特性に応じた対応が出来れば、それは問題として浮かび上がらずに生きていくことが出来るのもかもしれません。そしてその特性に応じた対応を知るために発達障害という概念があるのだと思います。それは「ふつう」に近づけるために使う概念ではないのだろうと思います。しかし、実際はロバート・キャンベルさんが言われているように、出会う一つ一つの場面で差別や偏見、無理解等に基づき本人を追い詰める要因が存在します。そしてそれは私の中にもあることに気付かされます。

取材班は希望へのヒントにたどり着いたと書いていました。「まずは、その生きづらさの根っこにあるものを、当事者も周囲の人たちも「異なるもの」とせず、心に置いてみる。そして「聴く」こと。そうすることで、多くの人を感じる生きづらさの背景にある社会の構造、そこにつながる私たちの意識の中の「ふつう」に目を向ける道が開かれるのではないか。」、このことは専門職でなくても出来ます。時に自分の中にある認めたくない感情に出会うかもしれませんが、私はこの内省的な営みを続けていきたいと思いました。

・今回はほかの方たちへお任せだったなという個人的印象ですが、おかげさまで私生活のほうに注力でき、感謝感謝です(D)(E17)

・「山科検定」のチラシを発見。今年で7回目だそうで、何となく興味を持ち、受験しました。“地元民でも知らない山科を知る良い機会”だと思うので、「山科を深掘りしてみたい方」には特にオススメかと…タダです。読んで頂き、ありがとうございました。(ヒトミ)

・今年の冬はゆっくりお風呂に浸かるようにし始めました。ちゃんと自分に目を向けているなあと感じる時間になっています。(はま)

着物寄付のお願い

オリブでは寄付で頂いた着物や糸で、いろいろな製品を作っています。頂いたものが形を変えて、誰かの元へ届くよう、大切に使用して頂きます。

編集後記

オリブだより 2024年12月編集
発行人 関西障害者定期刊行物協会
大阪市天王寺区真田山町2-2
東興ビル4階
編集人
オリブホットハウス
社会福祉法人 オリブの会
京都市山科区東野中井ノ上町3-33
TEL : 075-591-4669
FAX : 075-591-4679
ホームページ <http://olive-net.info/>
フェイスブック <https://www.facebook.com/olivehothouse/>
メールアドレス
olive-cw@rio.odn.ne.jp
定価 50円

※オリブだよりのバックナンバーを
たい方は、ホームページに掲載して
す。

いつもありがとうございます。
岩村チエ子様、佐藤純様、大久保様、大河内様、丸毛様、秋山様、木谷真人様、木谷恵様、(株)大曜様、京都奉製(株)様、大井啓吾様、ダイゴ様、京都ほつと(株)とセリター様、認知症予防ネット様、總本山醍醐寺様、春日丘センター様、洛和会ヘルスケアシステム様、関西よつ葉連絡会様、(株)よつ葉ホームデリバリー京滋様、竹之内運送(株)様、無印良品京都山科店様、里地会クリニック様、京都市文化市民局市民スポーツ振興室様、(株)ヤマシナ様、オリガニツクマーケットしが実行委員会様、国際交流の会とよなか様、ケーアアンドアイ様、近畿オービス(株)様、へいあん後見福祉ネットワーク様、(社福)新明塾様、京都市ごみ減量推進会議様、大宅学区社会福祉協議会様、山科区社会福祉協議会様、大宅学区民生児童委員会協議会様、山科区役所保健福祉センター様、京都府高齢者支援課様、山科区役所子どもはぐくみ室様(令和六年八月、令和六年十二月順不同)

一九九一年九月三日第三種郵便物承認 毎月(1, 2, 3, 5, 6, 8の日)発行